



ReadersVoice 読者の広場

好いとお! 福津

読者の声を中心に、みんなと広報広聴係で作る交流コーナーです。広報ふくつの感想はもちろん、市政へのご意見、ふるさと福津市への思いや日々の生活のことなどを掲載していければと考えています。たくさんのお声をお寄せください。

切って読んでいるのは、音声が重なったり反響したりして聞き取れないことを防ぐためです。なお、雨や風向きなどの気象状況や地形、防音に優れた建物など、条件によって放送が聞こえづらいつながりがあるかと思えます。防災行政無線で流した直近の放送を電話で確認することが出来るサービス（☎0180・999・292）もありますので、ご利用ください。

ふ

つくるの図書
返却ポストは
午後6時30分
までしか利用できないので、学生や社会人にとって利用しにくいです。返却ポストをふつくるの外に設置してもらえないでしょうか。
(みかんさん/西福岡)
JR福岡駅のふつくる内にある図書返却ポストは、平日午前9時から午後6時30分まで、土曜・日曜日、祝日は

午前9時から午後5時まで、市立図書館やメリアステージ図書館で借りた本の返却ができます。いつでも利用できるように、ポストを移動できないか検討しましたが、福岡駅構内には手すりが設置されていて、ポストの大きさなどを考えると安全管理上移動は難しいです。今後、いたいたい要望を踏まえて関係機関などと協議し、少しでも利用しやすい方法を研究します。

私

は仕事に就いてない「失われた20年」と言われた世代の人間です。仕事がないと、結婚もできません。子育て世帯に優しい町かもしれませんが私たちに何も恩恵はありません。40歳代や50歳代の中高年への就職支援を行ってください。(Yさん/花見/40歳代)
市では自力で公共職

知っと〜? 福津弁 Vol.18

ウミガメがこうらけねえ生まれとう。

こうらけねえ?

(大和1区) がたながしんご 湯永真虎ちゃん

※解説は23ページの下

業安定所（ハローワーク）と連携して、生活相談窓口を設けています。相談支援員や就労支援員などが就職に向けて一緒に考えます。まずは一度ご相談ください。
市福祉課 ☎43・8188 ハローワーク福岡東 ☎092・672・8609

隣

人が頻繁に大勢の人を招いて庭でバーベキューをしています。迷惑していません。お酒を飲んで騒いだり叫んだりしているのを、窓を閉めていてもテレビの音がかき消されます。臭

いで洗濯物も取り込まなければなりません。「自宅の庭でバーベキュー」という憧れは理解できますが、あまりに頻繁なので困っています。(はなさん/若木台/40歳代)
たかさんの人を自宅に招くのは楽しいですが、そのときは少し隣の家のことも気に掛けてほしいですね。ただ、私有地内での行為ですので、市がその人に対して指導することなどはできません。例えば自治会にお願いして、回覧でマナーを守ってもらうように呼びかけるなどしてみてはいかがでしょうか。

お便り投稿大募集!

「好いとお! 福津」は皆さんと一緒しよに作るページです。21ページの市広報秘書課行はがきやメールなどで受け付けています。お送りいただいた原稿は、紙面の都合により、加筆、修正、短縮する場合があります。また、応募多数の場合は選考しますので、掲載できないこともあります。原稿や写真は返却しませんので、ご了承ください。匿名を希望する場合は、その旨を明記してください。

広報紙への感想や日々の暮らしのことなど、皆さんからのたくさんのお声をお待ちしています。

問い合わせ 市広報秘書課 ☎43・8113 E-mail info@city.fukutsu.lg.jp



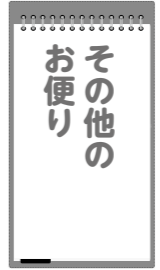
自

然災害はどこで起きるか分からないので実際の被災地の情報は役立ちます。表紙の朝倉市の三連水車は親戚が管理者なので、特に感慨深いものでした。親戚は昨年の豪雨で床上浸水などの被害にあつたにもかかわらず「若いボランティアの人たちの無償の善意と明るい言葉に救われた」と前向きでした。(みゆうさん/光陽台/50歳代)
ちょうど7月号の編集を終え、印刷に回した頃「三連水車が今年も回り始めた」との報道を見ました。三連水車が水をくみ上げる様子は力強く、見ている私にも元気を与えてくれるようです。その三連水車とつながりのある人が市内にいて



空

き家の特集は時機を得た内容で良い企画でした。「家の数だけ物語がある。」というキャッチコピーと表紙の写真は地域が抱える問題を象徴していても印象に残りました。(M・Sさん/若木台/70歳代)
お盆の期間中、帰省する家族が一緒に一緒に考えてほしい、と思い8月号で特集しました。ぜひ他人事と考えずに、一度家族間でも話し合ってみてください。実はこの記事の内容が固まった直後に、相続に関する法律などが国会で可決しまし



防

防災行政無線の放送は、市内の公共施設などの屋外に設置しているスピーカーで流しています。文節ごとに区

は驚きました。ボランティアのかたの一言、すばらしいですね。私もそんな声掛けを心掛けたと思います。

「空き家II迷惑」ではなく、空き家になってしまったそれぞれの事情があるという意味を込めました。表紙の写真はあえて水彩画風に加工してみました。